VCPC
Value-Chain Process Council

i4 WG

2017年度活動報告 & 2018年度活動計画

2018/06/01

報告者： 2017年度WG参加者 梶川 伸樹

Copyright, NPO Value Chain Process Council, Inc.

目次

１．2017年度「i4 WG」 活動趣意書

２．参加メンバ（７名）

３．活動概要

４．活動日程（全１0回）

５．活動の成果

　　①　SCORモデル活用による課題深耕、明確化

　　-1．工作機械用工具のG-SCM構築

　　-2．フイルム化学メーカのSCM指標見える化

　　②　SCORを活用したS&OP業務の確立

　　自社のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｻｲｸﾙをSCOR(S&OP)で再定義

６．活動のまとめ～成果と課題

７．次期の活動計画

1. 2017年度「i4 WG」 活動趣意書

■活動の位置付け

・発足時の活動方向性を基軸に据えた上で、2017年度は「IoT/AIで実現する提供価値が無意識下に置かれるこれからの時代(次代)、SCORに代表される参照モデルはどのように活用できるか、また活用すべきか」を探求する目的で調査・研究に取組む。

【調査・活動基盤対象】

i4 WGは「IoTに代表されるIoX」「AI」「Industrie 4.0」「IIC:Industrial Internet Consortium」「IVI:Industrial Value Chain Initiative」及び、メンバが触れることのできる情報ソースも含め、対象を広く捉える。　※ VCPCはIVIの賛助会員として入会済み。

■NDAにサイン　極力、生の情報と実務に触れる為に、WGの場に限定して情報をオープンにする

■活動概要

・IoT/AIの動向調査・事例調査(動向変化をモニタリング)

・事例研究対象:IoT/AIが実現する提供価値についての考察

・現状のSCORメトリクスで上記の価値が表現できるか。提供価値実現の仕組み・構造をSCOR Enableも含めたプロセス要素で表現できるか、等のトライアル・モデリング

・上記活動を進める上で必用となる、SCORの基礎知識獲得、個人学習、WG内の支援。

⇒ WGの内外で、「SCORに馴染む機会」を設定。「SCOR活用ミニWSコース」案次頁。

■成果物定義　「仮題:IoTで実現する提供価値とSCOR」研究レポート

■募集メンバー　本趣意書にご賛同いただき、参加を希望するVCPC会員の方々

■日程　毎月一回(土曜日AM)　10:00 ～ 12:00 (延長時Max13時)詳細スケジュール別紙参照

■開催場所　(株)日立ソリューションズ東日本 (JR川崎駅徒歩3分、京急川崎駅徒歩3分)19F

■TOPICS　メンバー間の連絡はNet上のグループウェア機能を使用

Copyright, NPO Value Chain Process Council, Inc.

２．参加メンバ（７名）

プラクティショナとして参加している3名は、WG経験の日も浅いが、自社業務への理解は深く、課題認識も単なる一部門の問題ではなく、複数部門間にわたる問題と捉えており、解決も一筋縄では行かないと見ている。この実務家をｻﾎﾟｰﾄするように、様々なベンダの専門家が集結しており、解決に向けて具体策をどのように適用すべきかのｼﾅﾘｵも併せ持っているﾒﾝﾊﾞが揃っている。

No.	所属企業/団体	所属部門/従事業務内容	参加率	備考
1	プラクティショナ	SCM部門	90%	
2	プラクティショナ	計画系業務遂行部門	100%	
3	プラクティショナ	業務改革推進部門	100%	
4	通信ｷｬﾘｱ新事業(IoT)	コンサルタント	25%	IVI活動に参画
5	ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄｿﾘｭｰｼｮﾝﾍﾞﾝﾀﾞ	情報システム部門	25%	CS向上へのR-M活用
6	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ	個人事業主	100%	テクニカルｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞ
7	ITソリューションベンダ	コンサルタント	100%	WGﾘｰﾀﾞｰ、ﾌｧｼﾘﾃｰﾀ

3. 活動概要：WG初心者向け

■「SCOR活用ミニWSコース」案：知識獲得、活用ｽｷﾙ向上、実務適用に向けて

回	テーマ	活動タイプ			備考
		座学	ｽｷﾙ演習	実務適用	
1	【SCORの構造を知る】：Ver.Upの歴史、ﾒﾄﾘｸｽ編	○	―	宿題	
2	SCORﾒﾄﾘｸｽWS	―	○	―	WS：ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ
3	【SCORの構造を知る】：ﾌﾟﾛｾｽ編、ﾍﾞｽﾄﾌﾟﾗｸﾃｨｽ編	○	―	宿題	
4	SCORプロセス・ベストプラクティスWS	―	○	―	
5	【SCを評価する】LSC編	○	―	宿題	LSC：ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽｽｺｱｶｰﾄﾞ
6	SCOR活用に向けたLSC　WS	―	○	―	
7	【自社のSCをSCORで描く】Lv.1、Lv.2、Lv.3	○	―	宿題	Lv.：ﾚﾍﾞﾙ
8	SCORで描く自社のSC　WS	―	○	―	
9	【SC改革にSCORを活用】自社を俯瞰して見える化編	○	―	宿題	
10	SCOR活用統合WS	―	○	―	

Copyright, NPO Value Chain Process Council, Inc.

4. 活動日程

※ 下記の日程は会場の都合等で変更となる場合があります。
予めご了承願います。

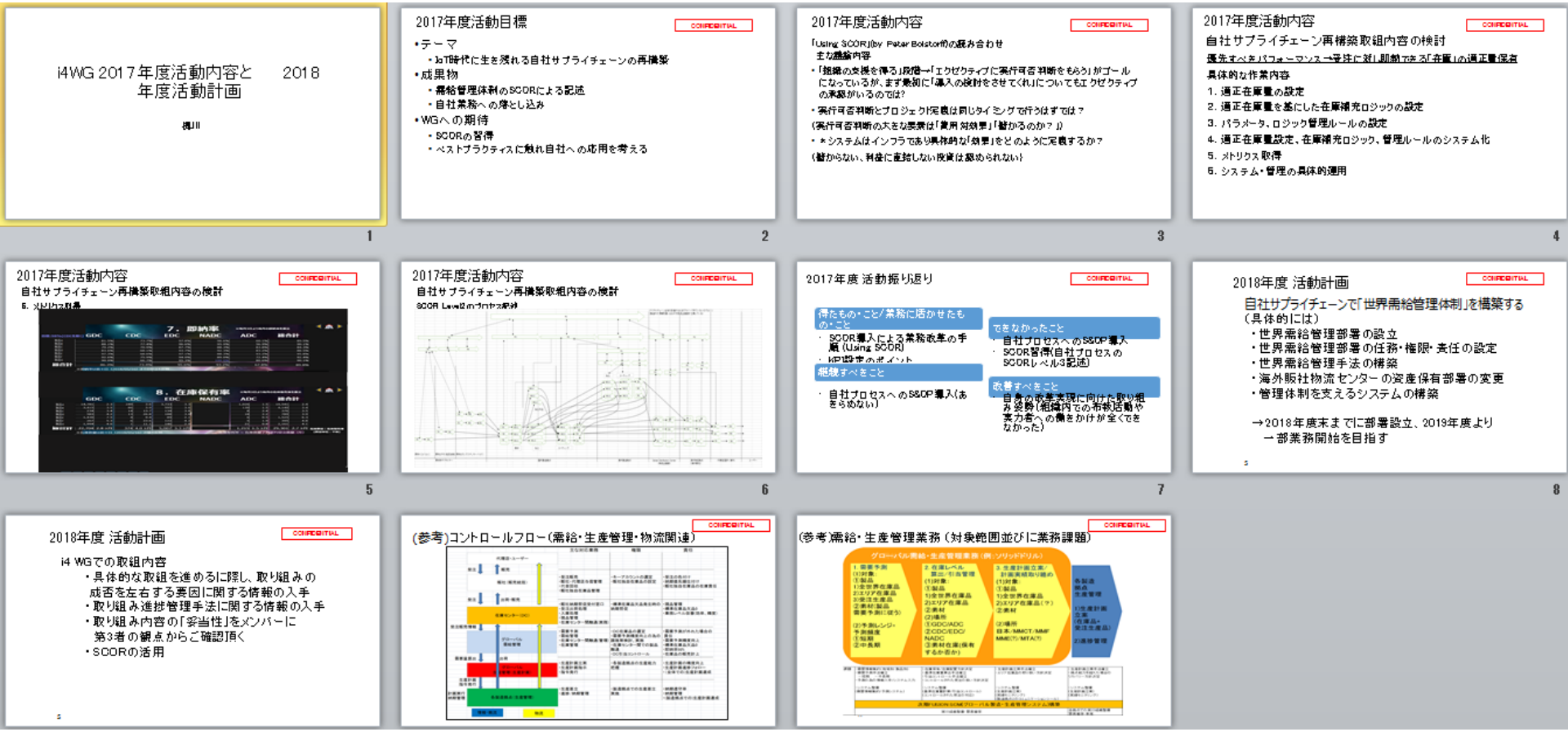
回	開催月日	AM [10:00 ～ 12:00]	実施内容
1	07/08(土)	○	・キックオフ、メンバ紹介。 ・個人別成果物定義。成果物：定義書。
2	08/05(土)	○	・Using SCOR(翻訳版)配布、ウォークスルー
3	09/02(土)	○	・SCORプロジェクトWBS紹介
4	10/14(土)	○	・Using SCOR内容理解、ディスカッション
5	11/04(土)	○	・「SCOR入門」実施、T-D記述
6	12/02(土)	○	・メトリクス分科会、研究レポート・ウォークスルー
7	01/06(土)	○	・個人成果物作成
8	02/03(土)	○	↓ ↓ ↓
9	03/03(土)	○	↓ ↓ ↓
10	04/07(土)	○	・個人成果物レビュー、2017年度振返り

Copyright, NPO Value Chain Process Council, Inc.

① SCORモデル活用による課題深耕、明確化

-1. 工作機械用工具のG-SCM構築

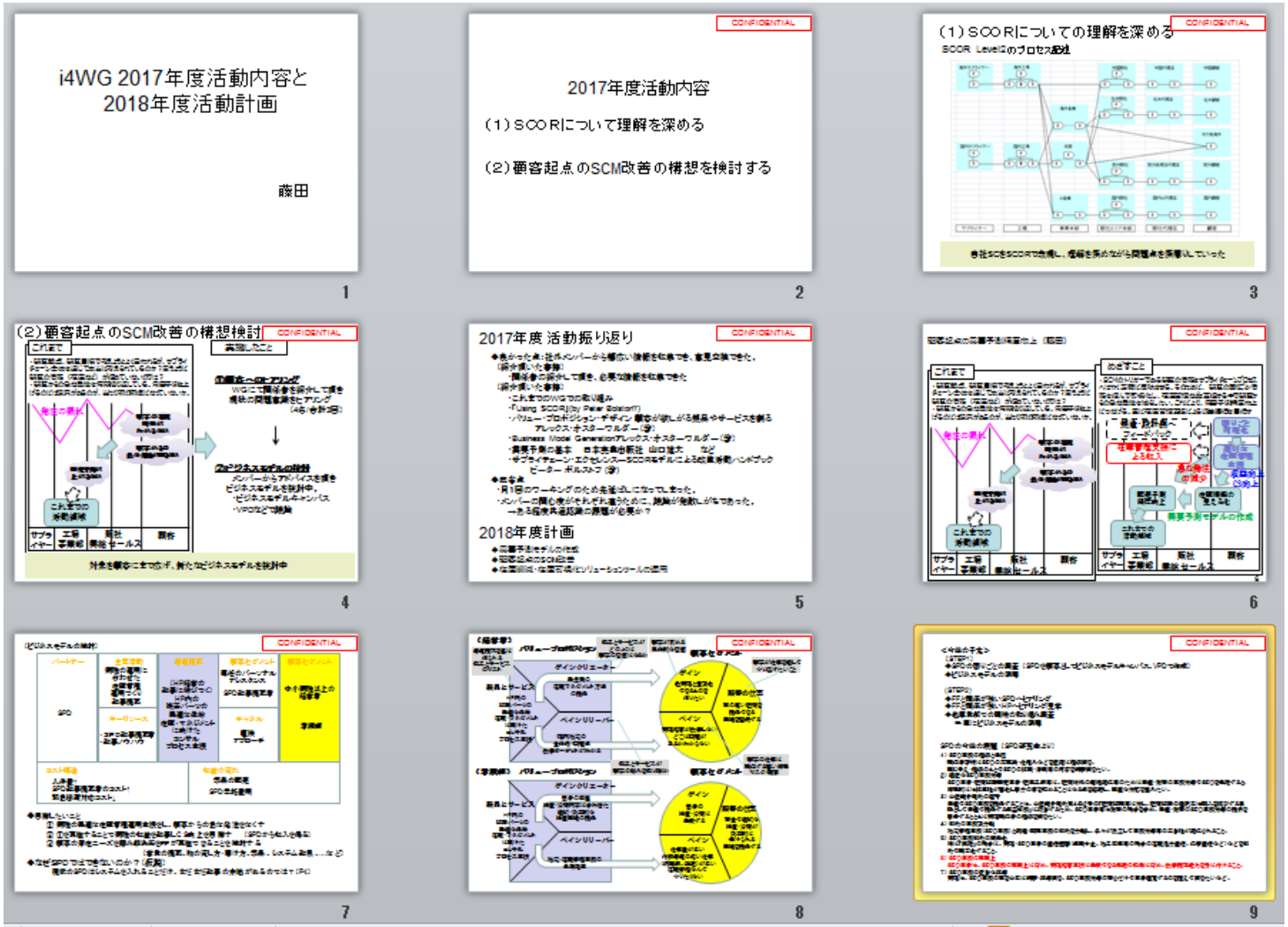
スライド全画面版は、投影スライドを御覧下さい



① SCORモデル活用による課題深耕、明確化

-2. フイルム化学メーカのSCM指標見える化

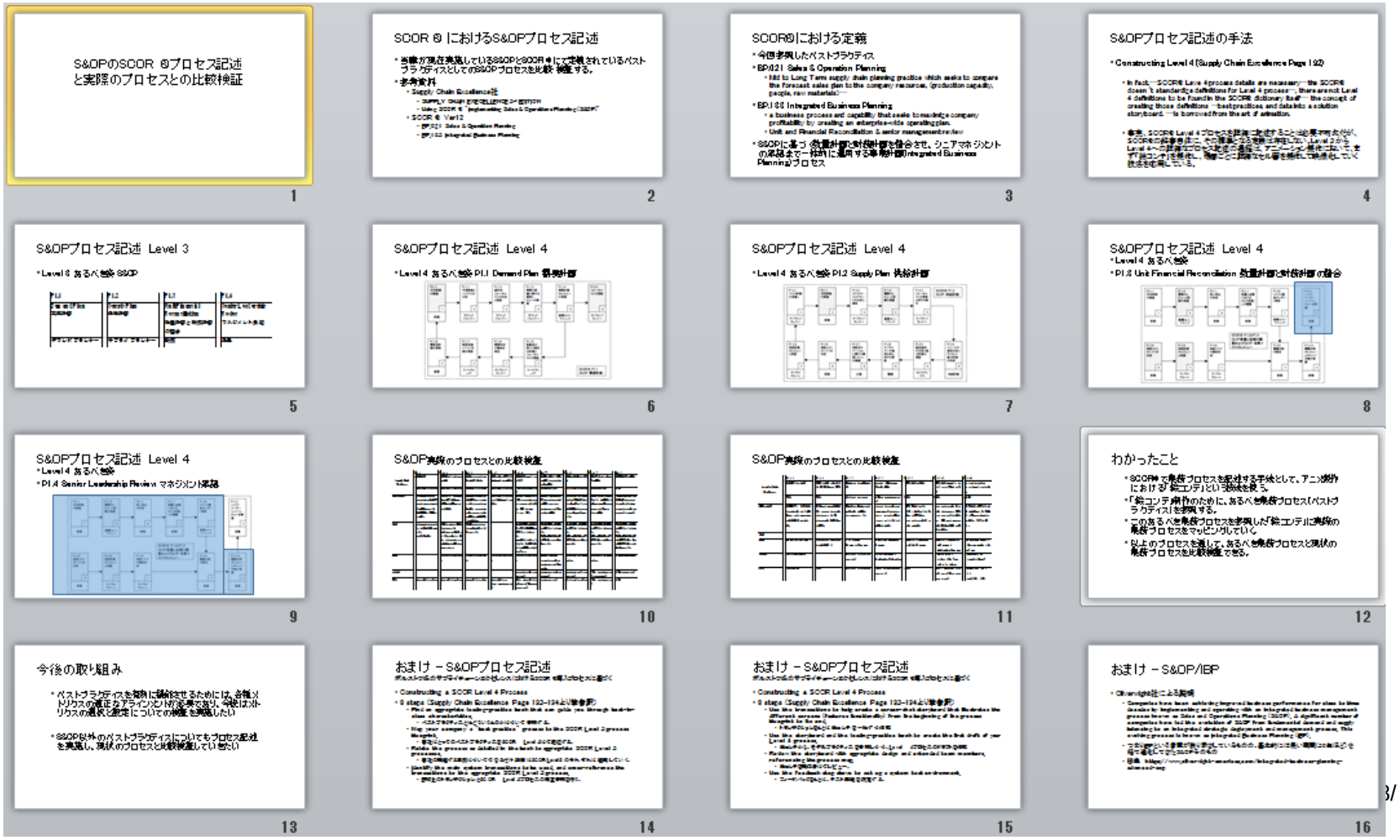
スライド全画面版は、投影スライドを御覧下さい



② SCORを活用したS&OP業務の確立

自社のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｻｲｸﾙをSCOR(S&OP)で再定義

スライド全画面版は、投影スライドを御覧下さい



VCPC Value-Chain Process Council

６．活動のまとめ～成果と課題

成果１．新規入会でWG活動を始める際のコンテンツ整備

・VCPC WGのなかで、所謂、初心者向け、入門講座に位置付けられるWGが明確に提示できる状態になっていなかった(積年の課題)。今回、これに対して、幾つかの基本コンテンツを組み合わせて、入門講座に相当するものの開発が可能なのでは、それも一人ではなく、皆んなでやる、グループ/チームで行うことで、より実業務に近いかたち(体制を整備して行う)で実現可能なのではと思わせるほど、SCC-J次代のWG成果物は貴重な調査・研究対象に位置付けられるようになってきている。

成果2．自社の課題、問題点にダイレクトに価値創造を貢献

・ 過去のWGでは、一つのWGが一つ(又はそれ以上)の課題に対してアプローチしていたが、今回は同じコンテンツは持つものの、それを活用する先は多数存在することの気付きを得た。アプローチの際、所謂古くからあるWGの当時のコンテンツで、技術的にも安心でき、問題の核心を突けることができるものが、当時から開発・作成されていたということに、今更ではあるが、再認識するかたちとなった。

課題１．外部機関への働き掛けとコラボレーションの進展（2018年度以降の活動へ）

・IVIとの関わりは、限定したメンバの活動に偏ったかたちでしか展開できておらず、同機関との関係性を強化したり、VCPCの持つ価値を先方に認めてもらう等の、先々の関係性を良好に導くアクションのレベルに到達していないのが現実である。

・この課題は、対IVIのみならず、IIBA、BMIA等、国内/海外の有力機関との関係性構築や構築後の継続段階においても、充分とは言えず、中長期で考えた場合、有効性につながる多くの機会を逸してきたのではと思われる。VCPCの体制、構成メンバ、役割の割り振り等、現実的に動けるリソースをどう確保し、どう投入していくか。積年の課題となっている。

7. 次期の活動に向けて

「Buzz Wordに踊らされるのではなく、地に足が着いた活動を展開して行く」

「温故知新：過去のWGの成果物を再評価。課題への対応、問題の解決、これらを有効に進めることができるのならば、何でも活用すれば良い」
～2017 i4 WG

目の前に転がる、課題、問題は、自社だけの特別なもの、と多くの方が考えております。
ところが、驚くほど同じ悩みや問題を、皆さんは抱えているのです。
適切に対応するには、ご自身の心持も重要であることは言を待ちません。
問題や悩みを共有するだけでも、ストレスは薄れ、プレッシャーにも強くなります。
WGで場と機会を共有することは、上記の交流を広げ、深めて行くことにつながります。

「i4 WG は、常にWGメンバの新規募集を行っております」

Copyright, NPO Value Chain Process Council, Inc.

ご清聴ありがとうございました。

月に一度は、大人の学びの世界に、ダイブしてみませんか。

2018年度、多くの方々と実践研究活動をご一緒できることを、楽しみにしております。

2017 i4 WGメンバー一同

Copyright, NPO Value Chain Process Council, Inc.